

2024年度 こども園評価書

堺市立 共愛 こども園

<p>教育・保育理念</p> <p>・自分も友だちも大切にできる心の育成 ・学びの芽の育成 ・自分の可能性や能力を十分に発揮できる力の育成</p>
--

<p>2024年度重点目標</p> <p>・健康でしなやかな心と体を育てる ・人の話を聞く力、自分の思いを伝える力、人の気持ちに気づく力を育てる ・子どもが主体的に遊び、ときめき、ひらめき、イメージを大事にした教育・保育を進めていく ・小学校、中学校、保育園、こども園及び関係機関などが連携し、学びと育ちにつなげる ・保護者と一緒に子どもの成長を喜び合い、ともに子育てをしていく</p>
--

<p>重点項目</p> <p>「わたしもだいじ あなたもだいじ みーんなだいじ」を軸に子どもが主体的に遊び、仲間をくぐって自己肯定感を育む。また様々な家庭状況や保護者の思いを理解し寄り添いながら子育て支援の充実を図り子どもの発達と学びを保障する。</p>
--

重点目標	重点目標に向けた具体策	評価項目	自己評価	こども園関係者評価
人権を大切にできる心と体を育てる		・一人ひとりの思いを受けとめ、安心できる環境のもと自己肯定感を育てる ・教育・保育の中で、一人ひとりの違いを尊重しあい、人権を大切にできるクラス運営を行う	A 乳児は育児担当制を行い、一人一人の思いを受け止め、丁寧に関わり愛着関係を築いてきた。全体としても家庭環境を理解しながら、園児の思いに寄り添い一人一人の個性や違いを尊重し、各々に応じた援助をしながら園児同士がお互いを認め合える関係づくりを大事に取り組んできたことで、自己肯定感が育まれている。	A 様々な家庭への対応を意識している。認めあう、受容されるという経験が自分や他者を大切にしようとする人権感覚に繋がるので今後も大切にに取り組んでほしい。
健康でしなやかな心と体を育てる	・『早寝・早起き・朝ごはん』を推進し、生活リズムの大切さと遊びを通じた経験の重要性を伝え、保護者とともに生活リズムを整えながら適切な登園時間を進める ・毎朝のアートヨガで気持ちの安定と体ほぐしをするとともに、バランスの取れた体づくりをする ・散歩や声外での遊びを通して体を存分に動かし、積み重ねの中で体力づくりに取り組む	・家庭状況を理解し連携しながら、子どもが安心できる心地よい居場所になるように努め、生活リズムが整うような働きかけ(保護者とともに生活リズムを整える)をする ・毎日の生活の中で、必要な習慣を身につけ、自立心(自分でできる力)を育てる ・食育などを通して食事の大切さを学び、食べることが大好きな子どもに育てる ・体ほぐしを毎日行うことで手足をしっかり使い、リラックスしながら姿勢を保てるようにする ・発達や能力に応じてバランスよく全身を使いながら体を動かす楽しさを味わう ・自然の中で伸び伸びと体を動かして遊ぶことにより、体の諸機能の発達を促す	A 生活習慣・生活リズムについては、園児には年齢に応じた保健指導で大切さを伝えることで興味をもって取り組めるようにし、保護者には様々な家庭状況があることを理解しながら連携、助言し、幼児は「早起き・早寝・朝ごはんカレンダー」の取り組みながら保護者と一緒に生活リズムを育てる機会を持つ等してきた。毎日の生活や活動の流れを一定にし、園児の様子に合わせて必要な援助を丁寧に「自分でできた」経験を積み重ねることや、幼児はカレンダーや毎日の振り返りの会で次の日の活動を知らせ、活動を楽しみに登園できるようにしてきたことで、生活習慣・生活リズムを身に着け、意欲をもって身の回りのことや活動に取り組む力が育まれてきている。食育では、菜園活動、クッキング活動を通して、野菜に興味関心を持ち、育てた野菜を目の前で調理したり、給食やおやつに入れてもらったりすること、食材の紹介や栄養指導等を行ってきたことで意欲的に食べる姿に繋がっている。毎日のヨガ、リズム遊び、散歩、年齢に応じた運動遊びや集団遊びを積み重ね、体を動かして遊ぶことを楽しみながらバランスよく全身を使い、しなやかな体づくりを行ってきた。座る姿勢が崩れる等体幹の弱さを感じるので、引き続き継続して取り組んでいきたい。	A 生活リズムを整えようと体調も整う。保護者の話も聞きながら、子どもたちの生活リズムを整えていくことに繋がれていると感じた。カレンダーの活用、次の日の活動の話をするなどで子どもたちが楽しみながら見通しを持っていく工夫し、主体性を育んでいる。体づくりは継続しなければ成果は見えないと思うので、散歩、園庭遊び、運動遊び等、体を動かす機会を増やし、継続して取り組んでほしい。
自己肯定感を育てる	絵本やお話しを通して言葉の獲得、豊かな想像力(イメージする力・心情のよみとり)を育てる 安心して大人との関係の中で話を聴いてもらううれしさを感じられるようにすることで、自分の思いを伝え、人の話を聞く力を育てる	・絵本やお話しを通して豊かなイメージを持ち、言葉に対する感覚が養われるようにする ・ストーリーと自分の経験を結びつけたり、友だちと共有したりしながら表現を楽しむ ・思いや話を聴いてもらうことの心地よさを感じ、自分の思いをしっかりと伝えられる力を育てる ・会話を楽しんだりしながら人の話に興味を持ち、聞く力を育てる。また友だちと一緒に嬉しい気持ち、楽しい気持ちを共有したり、悲しい気持ちに共感したり人の気持ちに気づく	A 毎日絵本に親しむ時間を設け、乳児は絵本の言葉をまねたり知っているものを言葉で知らせたり、身振りをしたり楽しんできた。また、外国にルーツのある園児も楽しめるように、絵から内容やストーリーがわかる絵本を取り入れる等工夫してきた。年齢が上がるにつれ、絵本のストーリーを理解し、友達とイメージを共有して、登場人物の心情を考えながら身振りや言葉で表現することを楽しみ、ごっこや劇あそびに発展させて取り組んだ。また、友達とのかわりあいの中で、保育教諭が仲立ちしながら自分の思いを伝え、相手の思いも聞き気づくことを大切に取組むとともに、みんなの前で話す機会を意識して作り、先生や友達の話をするときのルールや姿勢を繰り返し伝えてきたことで自分の思いや考えを伝える心地よさを感じ伝える力が育ってきている。話を聞くことについても少しずつ積み重ねの中で聞くことへの気持ちは育ってきているので、今後も継続して取り組んでいきたい。	A 外国にルーツのある子どもも含めて多様な子どもたちも楽しめるよう配慮されており、安心して環境づくりに取り組んでいる。自分の思いを伝える大切さや人の話を聞く楽しさを、子どもたち全員が味わえるように取り組んでいきたい。話を聞くことは小学校でも大切にしていることなので、取り組みの共有をしていけたらと思う。
学びの楽しさを味わう	「自然」をテーマにした遊びを通して、ときめき、ひらめき、イメージを大切に子どもが主体的に遊びを展開し、様々な経験の中で不思議に思ったり試したり挑戦する中で、考えようとする力や理解する力を育てる ・活動の中で子どもが気づきを発信したり、友だちの意見に耳を傾けたりする機会を大事にし、より深い学びに繋がるよう働きかける ・実体験を通して、様々な感覚を体で味わったり、遊びの中のルールを知ったりしながら、興味のある遊びを存分に楽しむ	・「自然」をテーマにした遊びを通して、ときめき、ひらめき、イメージを大切に子どもが主体的に遊びを展開し、様々な経験の中で不思議に思ったり試したり挑戦する中で、考えようとする力や理解する力を育てる ・活動の中で子どもが気づきを発信したり、友だちの意見に耳を傾けたりする機会を大事にし、より深い学びに繋がるよう働きかける ・実体験を通して、様々な感覚を体で味わったり、遊びの中のルールを知ったりしながら、興味のある遊びを存分に楽しむ	A 「自然」をテーマに、今年度は各年齢「木」を決めて観察や素材で工夫して遊んだり、色探しをテーマに取り組みを展開したりした。また、砂、水、氷づくり、花、野菜、果実、葉っぱ、木の葉、虫等園内の自然に触れ、同じ素材でも季節によって形態やにおい、感触が違うこと、葉や花の色も同じようでもそれぞれ違うこと等を五感を使って感じ、自然の不思議さ、それぞれの変化や生態、季節や天候の移り変わりに興味を持ち、気づく力が育ってきた。発見したことを保育教諭や友達と報告しあったり、知りたいことを絵本や図鑑で調べたり、自然物を制作に利用したりする等意欲的、主体的に遊んでいた。カブトムシ、青虫等の虫の飼育では世話しながら生態や変化に興味を持ち、ごっこ遊びや表現遊びにも繋がっていった。菜園活動では生長や変化に気づき、収穫し、収穫したての生の野菜を食べたり、調理してもらったものを食べたり、素材の味やにおい、調理による変化等に気づいていた。これらの活動を通してこうしたらこうなるのでは?と予測したり、こういう理由でこうなったのでは?と考えたり、もっとこういうことを試してみたいという意欲に繋がる等、言語化したり考えたり理解を深めたりする力を育むことができた。	A 自然に触れる機会が少なくなっている中、工夫して取り組みを行っている。体験的な活動を主体的な学びに繋がれている。食物、虫、木、花、動物にも命があることを学んでいってほしい。子ども達が気づく力を育み、また、その気づきを学びに発展させている。伝える力や聞く力の向上と繋げ、より発展した活動となることを期待する。気づいて調べたり、意欲を持って考えることは小学校でも大切にしており、就学までにつけた力である。
園児の成長を支援する	2園交流(交流、菜園活動他)・小保交流・西の子まつり参加・出前授業の実施・体験学習の受け入れなどを行う 保幼小合同研修、公民区別研修、教育保育施設交流会、陵西校区合同研修、キャリアアップ研修等に参加する 老人福祉施設訪問・お話し会・地域フィールドワーク等を実施する	・保育園・こども園の園児と小、中学校児童との交流、小学校教員との意見交換等、連携を通じて教育・保育の質の向上を図り、円滑な接続につなげる ・研修を通して学びを深め、乳幼児期に育てたい力が小学校以降の学びにつながるような指導計画を作成し、日々の教育・保育を実践する ・可能な形で交流や連携を取り合い、地域での関係を深め、地域の方の協力を得ながら、堺の歴史や文化、地域の特性を生かした教育・保育を実施する(Webの活用含む)	B 園児は2園交流、西の子まつり、小学校見学、中学2年生の職場体験、中学3年・小学5年の保育実習、祖父母との交流、お話し会、地域活動事業時の交流等を通して、地域の様々な方々と交流を楽しみ、やさしくかわってもらった体験をしたことは園児の豊かな心の育ちに繋がっていた。今年度は2園交流で保護者交流、小学校校長先生のお話をきくことも実施できた。また、地域より消防隊の訓練の見学をさせていただき、地域とのつながりの中で豊かな経験をさせていただくことができた。職員は、陵西中学校区合同研修会への参加、小学校への出前授業、2園交流、菜園会議、小保交流、幼保小合同研修等で地域の園、学校と意見交換を行い、連携して地域の子どもたちの育ちを繋げている。今年度は園内の公開保育にしおあなの森保育園と小学校の先生にも参加していただき、意見をいただくことができた。次年度はさらに教育・保育内容の交流を深めたい。各種研修で学んだことを日々の教育・保育に積極的に取り入れるように、現在の園児の姿とこれからの育ち、学びにつながるよう考えて指導計画を立案し実施した。公立園として公民区別研修、教育・保育施設交流会を企画し、関係機関や民間園と互いの教育・保育力を高めあえるような意見交換を行うことができた。地域のことを学ぶため、船松人権歴史館の見学、異動者のフィールドワークを実施し理解を深めた。堺や地域の特色という点では、夏まつり時に「どんでんかっか」に取り組んでいるが、その他取り組めることを考えて実施していきたい。	B 公立園として地域との連携に取り組んでいる。しおあなの森保育園や大仙西小学校、陵西中学校との連携は充実していると感じる。地域との交流や地域の学校等との交流が、子ども達のふるさとへの愛着を育てている。交流を通して顔見知りになることも子ども達にとって大切なことなので、今後も交流を続け増やしていきたい。堺市や大仙西校区の特色を活かした活動(お茶、包丁、線香等)を考えて取り入れ、今後発展させていってほしい。地域とのつながり、子ども達のつながり等、地域全体で保育活動を支えていきたいと思う。
保護者の安心を促す	キッズビュー・フォトニュース・フォトフレーム・おたより・行事・個人懇談・送迎時のコミュニケーションで教育・保育及び子どもの姿を伝える 育児講座・ほっこりくらぶの実施、園庭開放・サロン・ホット預かり・リフレッシュ預かり等での保育の提供、子育て支援課・保健センターとの連携等を行う	・日々の教育・保育を保護者に見える形で発信し、子どもたちの様子をともに共有できるようにしていく ・地域の関係機関や団体等と連携し、協力を図り、地域の親子が安心して利用できる施設として子育て支援事業を提供する	A 日々の活動記録の配信、フォトニュース、フォトフレーム、園だより、クラスだより等で園の教育・保育内容やねらい、園児の様子やつづきやきを可視化し伝えてきた。また、送迎時、個人懇談、クラス懇談等の機会に、保護者の思いや家庭での子どもの様子、悩みを聞いたり、園での子どもの様子や成長したところ、課題等を共有し、それぞれの家庭の状況をつかみ、思いに寄り添いながらともに子育てを考えていった。行事では、ねらいや取り組み経過、クラスや個々の様子や成長を伝えて、保護者とともに園児の成長を喜びあうことができた。育児相談・園庭開放・育児講座・ほっこり預かり・堺区公立園での親子教室の実施の他、関係機関が実施する親子教室やイベント、地域のサロンに職員が参加し、保育の提供や子育て相談を行った。地域の親子が訪れた際には、一緒に遊ぶなど園児や職員との交流を行ったが、参加者が少ない月もあったので内容など工夫したい。必要時には保護者に地域の相談機関等を紹介して繋ぐ等地域と連携して子育て支援を行った。	A 保護者と連携し、家庭の状況を理解しながら教育・保育に繋がれている。保護者に見える教育・保育は安心感があり、保護者とともに子どもを育てていく取り組みはとてもよい。地域活動事業については参加者が増えるような取り組みに期待している。地域としても何か一緒にとりかかることができればと思う。
職員の仕事のやりがいを高める	研修会参加・園内研修・園内公開保育・チームアップ研修(人権研修)・各委員会・報告会・職員会議・特別支援保育会議・家庭支援会議等を実施する	・研修などを通して、教育・保育実践を振り返り、質の向上を図ると共に専門性を高める ・理念や方針、教育・保育課程、マニュアルなどについて、職員同士が共通理解する	A 理念や方針、教育・保育課程、マニュアル等年度初めに確認したうえで、園児の姿や教育・保育のねらい、内容、手立て、大切にしたいことなど毎月の会議で共通理解し、教育・保育を振り返り、より良い方法を考えることで教育・保育を進めた。園内研修では保育観・園児への関わりについてのグループ討議、乳児・幼児グループでの取り組み内容の交流、自然をテーマに講師に助言いただきながらの実践と園内公開保育での意見交換、船松人権歴史館見学、講師による共生保育の講演と助言等を実施し、学びを深めた。また、ハラスメント防止研修、不適切保育防止研修、園外の各種研修等多様な研修に参加して学ぶことで個々の専門性を高めるとともに、学びを日々の教育・保育に活かすことができた。	A 特別支援等の研修も充実させてほしい。様々な研修で職員のスキルアップと保育観の共有は大事である。日々の会議等で職員同士がコミュニケーションをとり、共通理解している。これからはチーム共愛として継続していってほしい。
危機管理意識を高める	災害訓練・不審者訓練・交通安全教室・リスクマネジメント委員会・安全点検・重大事故訓練・心肺蘇生法・AED訓練などを実施する	・危険な場所や遊び方、災害時の避難の仕方など、必要な約束事について学び、安全に気をつけて行動できるよう遊びや生活の中で伝える ・リスクマネジメント委員会にて事故防止やリスクについて検証し安全、安心な環境づくりを行う	A 遊び方や遊具・用具の使い方を園児と確認したり、怪我につながる行動について園児と共に考える機会を持つ等安全教育を行った。災害訓練や不審者訓練、4、5歳児の戸外保育での防災センターでの体験、教材での学び等で安全な避難や命を守る行動を園児に伝えてきたことで、園児の意識も育ってきている。リスクマネジメント委員会では怪我の事故報告やヒヤリハットの検証と対策を話し合い、事故防止に向けて取り組んできた。全職員で天津波警報発令時の行動や備蓄の確認等とともに様々な想定での災害・防犯・重大事故・心肺蘇生法訓練では、振り返りの中で職員自身がその都度考えて行動するという視点で話し合い、職員の意識向上に努め、改善点をマニュアル改訂や準備物追加等に活かした。	A 実際に避難を想定した内容の変更等改善されている。子どもとともに安全を考える機会を設けているのも、子ども自身が怪我の防止につながることでよい。今後、近隣団地の解体等があり、安全・安心という観点から、子どもと保護者、園、行政、地域全体で園の環境を考えることも必要かもしれない。

課題	具体的な取組方法	園長より
生活リズムを整え、1人1人が期待をもって登園し、安定した気持ちの中で主体的に生活や遊びに取り組む	一人ひとりの個性や状況を理解し、保護者の思いに寄り添いながら、こどもの生活や遊びが保障できるよう一緒に適切な対応をしていく。生活リズムについて保護者とともに行えるような活動を行っていく。こどもが期待をもって登園できる取り組みを行っていくと同時に、取り組み内容をフォトニュースや活動記録等で発信し、親子で園での活動を楽しくみできるようにする。安心して生活や遊びができるように思いを受けとめ、子ども自らが意識し、主体的に行動できるよう関わっていく。	共愛こども園では「わたしもだいじ あなたもだいじ みーんなだいじ」を軸に教育・保育を進めています。大人との信頼関係を基盤に友だちへ関係を広げ、お互いを認め合う関係づくりに取り組み、自己肯定感をしっかりと育てる心の育ちを大切にしてきました。地域の方々との温かい交流も子ども達の豊かな心の育ちに繋がっています。また、自然をテーマにした実践、体づくりや生活リズム・習慣の確立にもつなげた取り組み、お互いの思いを伝えあう取り組み等をする中で、子どもたちは、主体的に活動する力が育ってきています。職員の資質向上については、教育・保育内容の研修、人権研修、心肺蘇生法、ハラスメント防止・不適切保育防止研修等を実施しました。次年度は今年度の評価を基に親子で園での取り組みを楽しみにできるような活動内容の伝え方の工夫や、堺・地域の特性を活かした活動等も考えながら、より工夫して教育・保育活動を行っていきたく思います。また、一人ひとりを大切にするとともに、人と人が繋がらぬように、認め合い共に育ちあうことを大切にしながらよりよい教育・保育ができるように職員一丸となって取り組んでいきたいと思っています。保護者の皆さまには、今年度も園の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。
安定した生活とワクワクしときめい遊びを展開していく中で、自分の思いや気づきを言葉・身振りで豊かに表現する力、先生や友だちの話を聞いて理解し、共感しあう力を育む。	次年度も「自然」をテーマに、こどもが主体的に活動できる環境づくりや方法について、参加した研修や園内研修で学びを深め職員で共有しながら実践していく。安定した生活とワクワクしときめい遊びを展開していく中で、こどもが主体的に遊び、自分の思いや気づきを言葉・身振りで豊かに表現する力、先生や友だちの話を聞いて理解し、共感しあう力を育む。	